

令和6年度 事務事業評価シート（１）

〔 令和5年度事務事業 〕

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	結核定期健康診断・予防啓発事業			事業番号	011-233
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	感染症対策課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画 2025	施策 との 関連	有・無	戦略	—	施策	—	
			無	取組の方向性	—			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—	
			無	取組	—			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画			
3	事業開始年度	昭和 26 年度	点検対象年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	結核の罹患率が高い65歳以上の市民			対象数	単位	
					230,000	人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	主に結核の罹患率が高い65歳以上の市民を対象に、レントゲン検査を実施することにより、結核の早期発見、早期治療につなげ、結核のまん延を予防する。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	【結核予防週間等における予防啓発事業】 ①街頭啓発キャンペーンの実施（令和5年度：9月24日～9月30日） ②啓発リーフレットの作成及び配布 ③市役所・保健センターで結核についての展示 【肺がん・結核検診】 全校区において、胸部エックス線検診車の巡回検診を実施（令和5年度：98回） 【定期健康診断実施報告書の提出勧奨】 市内医療機関・福祉施設・学校等は年1回定期的健康診断を実施する必要がある、勧奨によって報告率の向上を図る。 【結核対策費補助金の交付】 学校や老人ホーム等の集団で生活する施設に対する結核対策費補助金の交付を行い、患者を早期発見する。					
		※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など					
		※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	委託：一般財団法人 大阪府結核予防会ほか 補助金：羽衣国際大学ほか					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度	
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
結核罹患率	%	目標値	15.0	14.0	13.5	12.5	
		実績値	14.6	9.6			
		達成率	97%	69%			
当該指標を選定した理由	本事業は、結核患者の早期発見、まん延の防止を目的としているため。 ※罹患率…一年間に発病した患者数を人口10万人対率で表したもの。						
目標値の設定根拠・算出方法	堺市結核対策評価会議を実施し、国の指針に基づき算定していたが、現時点で指針が示されていないため、実績より算定。						
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			目標値	3,500	3,500		23,000
			実績値	2,967	2,951		
			達成率	85%	84%		
当該指標を選定した理由	健康診断実施者は、感染症法第53条の7に基づき、報告しなければならないため。						
目標値の設定根拠・算出方法	前年実績を参考に設定。						

令和6年度 事務事業評価シート（２）

事務事業名	結核定期健康診断・予防啓発事業	事業番号	011-233
-------	-----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

事業費内訳	項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	17,828	19,097	19,713	18,310	54,267
財源	国支出金			0		0
	府支出金			0		0
	市債			0		0
	その他（ ）			0		0
	受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
	一般財源	17,828	19,097	19,713	18,310	54,267
14	人件費（b）	16,400	25,000	22,400	22,400	22,100
15	年間経費（c）=（a）+（b）	34,228	44,097	42,113	40,710	76,367

事業費の内訳

（単位：千円）

事業費内訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R5	R6				R5	R6		
16	結核検診の医療機関受診機会の 拡充（拡充）	決算	0	0		定期健診報告勧奨等郵送料	決算	390	390	
		予算	34,132	34,132			予算	401	401	
	肺がん・結核検診（集団）委託 料	決算	11,828	11,828		事務費等消耗品費	決算	193	193	
		予算	12,943	12,943			予算	339	339	
	結核定期健康診断補助金	決算	2,805	2,805		医学文献情報データベース利用料	決算	275	275	
		予算	3,005	3,005			予算	275	275	
	会計年度任用職員雇用経費	決算	2,307	2,307		有料道路通行料	決算	4	4	
		予算	2,607	2,607			予算	18	18	
	肺がん・結核検診（集団）案内 誘導業務委託料	決算	491	491		その他（手数料、修繕料等）	決算	17	17	
		予算	510	510			予算	37	37	

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

事業費内訳	区分	単位	令和4年度	令和5年度
17	① 肺がん・結核検診受診者数	人	2,967	2,951
	② 上記①にかかる年間経費	千円	12,306	12,319
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	4,148	4,175
備考（算出についての説明等）		②は検診を実施する際に要した委託料及び人件費等		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	昨年度と比較して肺がん・結核検診受診者数は微減している。新型コロナウイルス感染症流行以前の令和元年度の受診者数5,637人と比較しても、受診者数は年々減少しており、費用対効果は低くなっている。新型コロナウイルス感染症の影響が依然残っており、引き続き予約制の検診を行っていること等が要因と考えられる。また、肺がん検診の医療機関における個別検診の受診者数は年々増加しており、感染リスクや利便性を考えて肺がん検診のみの受診が選択されている可能性もある。結核患者の早期発見を努めるには引き続き受診勧奨を行い、一人でも多く結核検診の受診につなげる必要があり、令和6年度からは医療機関における結核検診の実施を行い、受診者数の増加に努める。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	結核検診の受診者数は横ばいだが、罹患率については全国的に結核患者数の減少が見られる。引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響による、市民の感染対策意識の向上が、結果的に結核の早期発見・早期治療、まん延防止につながっていると推測され、罹患率の目標値も達成できた。しかし、本市は依然全国と比べ罹患率が高い状況は変わらないため、罹患率をより減少させ、また減少した罹患率を維持できるように、検診実施機会の拡充や、感染対策の啓発に努める必要がある。
----	---